

昭和51年度一般会計予算

総額 7億5,100万円

投資的経費等

事業内容	金額	事業内容	金額
庁用備品及び交通安全施設等	1,834	流域下水道事業負担金	6,000
保育所備品及び老人ホーム負担金	1,926	グレーダー購入費	9,500
ごみ処理施設負担金等	7,810	ホース乾燥塔、消火栓等	3,130
農村総合モデル事業	30,019	スクールバス購入費	14,900
農道整備及び水質対策事業等	20,798	統合小側溝工事等	5,620
稲作振興事業等	10,865	統合小備品購入費	3,269
産業育成資金及び商工振興事業等	4,650	中学校備品等	4,872
道路改良舗装事業	44,511	公民館駐車場工事等	1,240
水路、下水道事業等	6,899	公民館備品購入費	1,020
都市計画街路事業	37,225	計	216,088

重点施策は

- ▽統合小の整備
- ▽道路の改良
- ▽農村モデル事業
- ▽都市計画事業
- ▽農業の振興

総額七億五千円からなる昭和五十一年度一般会計予算が、三月定例会で成立しました。今年度の予算は、国家経済の低成長下において、租税収入が大いに減少することから、国家予算では七兆二千五百億円もの多額な公債を充てる等極めて厳しい財政環境のもとで編成されています。従って地方税や、地方交付税の伸びは期待されず、地方債によって漸く財源の確保を図っておられ、国も地方も借金財政のやりくり予算であるのが実態です。

予算総額では、前年度に比較して九六・四七％に止まっていますが、これは、学校建設等が一応前年で終わったためであり、又、才入予算の伸び悩みが全体予算の縮小にもなっています。

しかし、今年度の投資的事業費は、一部学校建設関係費が追い送りにされているものの道路改良事業、都市計画事業、農村モデル事業、農業振興事業、商工振興事業等の重点施策は、予算の重点配分を行ない住民の要望には積極的に応えています。

(お知らせ) 統合小学校の電話番号は次のとおりです

